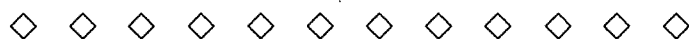


- 2月 3日：「SPring-8と新しい放射光利用技術」講演・見学会  
（播磨・大阪科学技術センターとの共催）。
- 2月14日：シンクロトン放射光利用技術セミナー  
（大阪・大阪ニュークリアサイエンス協会との共催）。
- 2月15日：海外放射光施設調査報告会（大阪）。
- 2月22日：パイロットビームライン ハッチ検討委員会（大阪）。
- 2月28日：パイロットビームライン 光源・ビームライン検討委員会（大阪）。
- 3月 4日：「放射光の医学利用」講演・見学会（大阪・大阪科学技術センターとの共催）。
- 5月13日：「アジア交流放射光フォーラム」（神戸・日本放射光学会との共催）。

#### ◆放射光関連研究会・講演会等日程

平成6年

- 1月10, 11日：第11回PFシンポジウム（つくば・KEK）。
- 5月11, 12日：第7回放射光学会年会（神戸・神戸市産業振興センター）。
- 5月13日：アジア交流放射光フォーラム（神戸・神戸市産業振興センター）。
- 5月16-20日：First East Asian Symposium on Biophysics (ASB94)  
（西播磨・支援センター）。



## 幹事会報告

庶務幹事 菅 滋正、坂井信彦

第6回幹事会[平成6年2月8日]：理化学研究所生物科学研究棟S310号室（埼玉）。第3回運営委員会および第2回総会に先立ち開かれた。次期運営委員選挙結果として、選挙管理委員会より岩見（岡大）、宇田川（東北大）、尾嶋（日本電電）、坂井（姫工大）、坂田（名大）、谷口（広大）、大門（阪大）、難波（神戸大）、松井（日電）、水木（日電）各氏の選出が報告された。候補者推薦者数が少なかったことが反省点として取り上げられ、次回は「光彩」と別個に通知連絡を行い、会員の注意を喚起して候補者数を増やす努力が必要との指摘があった。

<庶務>会員数が810名になった。総会委任状は約270通で、定足数は満たされると報告。

<会計>会費未納者は約1割である。総会報告内容の説明。

<利用>SG総数は33グループである。SG活動報告書を作成中である。

<行事>平成5年度報告。

なお、

- (1) SG活動援助として通信費、講師旅費を認める、ただし通信費は通信文コピー、宛先リストをそえて事務局に請求すること、講師についてはSG会合にどうしても必要な少人数の講師のみに限定し、いわゆる講演会的な講師を対象としないこと、
- (2) 会員のSG新規参加登録の手順を、会員→事務局→SG世話人→事務局とし、世話人の承諾を前提とすること、
- (3) SG活動で懇談会から旅費支給を受けなかった場合でも、活動報告を事務局へ提出する事をSGは義務とすること、

が決定された。

## 第3回運営委員会報告

庶務幹事 菅 滋正、坂井 信彦

第6回幹事会に引き続いて理化学研究所において開かれた第3回運営委員会（新旧合同）には、菊田、坂井、菅、辻、難波、下村、松井、石川、渡辺、尾嶋、坂田、安岡、向山、雨宮、岩見、水木、大門、宇田川の他各幹事並びにオブザーバーとして北村の各氏が参加された。

### 各幹事報告

庶務：次期運営委員選挙結果報告

新会員入会の承認が行われた。会員数は810名となった。

会員名簿の発行

総会の定足数は会員数の1/20なので、委任状の総数270通を含め成立の見込

会計：会費未納状況と今後の対策

予算使用状況及び年度内SGミーティング開催について

運営委員会、幹事会の旅費請求は庶務幹事よりまとめて事務局に送る。

庶務幹事欠席時は会計幹事、利用幹事の順で責任を持ってとりまとめる。

編集：「光彩」3号発行予定は3月である。記事を依頼中。

行事：10月8日理研における放射光源に関する講習会は盛会であった。来年度は同様な講習会の他、レイトレースに関する講習会を考えている。

利用：SG世話人会を年度内に行ってはどうか。予定は3/22午後神戸大学を考えたい。会場の世話は難波氏が行う（その後3/22は都合が悪い事が判明。4/28に東京で行う事になった。）

会長：全体活動報告

放射光学会、放射光4施設、3利用者懇談会合同の放射光科学講演会の提案について。

科技厅、文部省におけるSPring-8共同利用についての検討状況